

## 〔何故これら5人の音楽家たちなのか?〕

忘却の淵に沈んでしまった作品を復活再評価させるためにはそれが優れた演奏であることが不可欠です。そして何よりも作品への共感性が問われます。私(谷戸基岩)がこの15年間に通った約3,600のコンサートで聴いて「これは!」と思った音楽家たちの中からぜひ今回の作品を取り上げて欲しい5人を選びました。



**大谷康子**  
(ヴァイオリン)

パッションートな演奏、常に活動的でエネルギッシュな行動様式、そして人を惹きつけずにはおかない巧みな話術とスマートさ。誰からも愛されるコンサートミストレス。

©尾形正茂



**小林美恵**  
(ヴァイオリン)

まさに円熟の域に達した小林のソロはいつ聴いても刺激的。3年前の杉並公会堂(小)における「女性作曲家音楽祭」でもヴィアルドの「ソナチネ」で白熱の演奏を聴かせていた。

©武藤 章



**百武由紀**  
(ヴィオラ)

どのようなアンサンブルにあっても、常に音楽を活性化出来る類い稀なヴィオラ奏者。また知られざるヴィオラ作品への積極的な取り組みも素晴らしい。



**荻田雅治**  
(チェロ)

個人的には1996年に北とび国際音楽祭の「池辺晋一郎の世界」で聴いて以来のファン。この人が座っていれば安心してその室内楽を楽しめる稀有なチェリスト。



**山田武彦**  
(ピアノ)

豊富なアイデアとそれを具現化する恐るべき能力。聴衆の度肝を抜く山田のリサイタルを体験したら追いかけてはいられない。はたして今回はどんな技を繰り出すのか。

©佐藤 昌



**小林 緑**  
(企画・構成)

15年来女性作曲家の紹介に専心している音楽研究者にしてフェミニスト。

(出演者の詳細なバイオグラフィは当日のプログラムに掲載いたします)

## 〔津田ホールで聴く女性作曲家、これまでの演奏会記録〕(主催:津田塾大学)



**第1回**(2008年12月11日)  
**エセル・スマイス(1858-1944)の室内楽**  
~闘う作曲家にしてフェミニスト、その生誕150年を記念して

出演:加藤洋之(pf)、甲斐摩耶(vn)、阿部慶(hr)  
曲目:自作の主題による変奏曲、ヴァイオリン・ソナタ 短調 作品7  
二つの繋がりあうフランス民謡旋律、ピアノ・ソナタ第2番  
ヴァイオリンとホルンの二重協奏曲



**第2回**(2009年11月2日:昼の部+夜の部)  
**レクチャーコンサート**  
《秋に舞うピアノの名品たち》

出演:昼の部=岸本雅美、森下唯/夜の部=広瀬悦子、山田武彦  
曲目:古典派から近代まで、12人の女性作曲家による約30曲を集めた「女性版ピアノ音楽史」(マルティネス、アウエルンハマー、バラディス、シマノフスカ、メンデルスゾーン=ヘンゼル、C.シューマン、カレーニョ、シャミナード、メル・ボニス、ビーチ、L.ブランジェ、バツェヴィッチの作品)

## ●知られざる作品を広める会

音楽の歴史を振り返ってみても、魅力的な音楽作品が忘却の淵に沈んでしまうというケースは多々あります。ましてや今日のような高度情報化社会になればなるほど、却って画一的な価値観が押し付けられ、クラシック音楽が本来持っている多様性が失われがちです。有名作曲家の作品は微に入り細にわたり研究・演奏されるようになる一方、知られざる作曲家は無名であるという理由だけで演奏家・聴衆から排除されてしまいます。「知られざる作品を広める会」は有名・無名を問わず、優れた演奏家の方々にご協力いただき、そうした作曲家たちの忘れられてしまった作品の価値をもう一度、実際の演奏を通して判断していただく企画です。皆様の参加を心よりお待ちしております。

## 〔知られざる作品を広めるコンサート、これまでの演奏会記録〕

### (1) レベッカ・クラークとアンリエット・ルニエ

2002年7月9日、東京文化会館小ホール  
出演:川本嘉子(va)、吉野直子(hp)、小山実稚恵(pf)、有馬理絵(cl)

### (2) ギター作品で知られる作曲家たちのピアノ曲と室内楽 (現代ギター社GGサロン)

第1回「アレクサンデル・タンスマン」 2003年1月25日  
出演:川畑陽子(pf)、江口心一(vc)  
第2回「マリオ・カステルヌオーヴォ・テデスコ」 2003年3月8日  
出演:三好優美子(pf)、有馬理絵(cl)  
第3回「マヌエル・ボンセとA.タンスマン」 2003年4月26日  
出演:小柳美奈子、川畑陽子(pf)、森下幸路(vn)

### (3) セイヤス・プロジェクト 2004

第1回「カルロス・セイヤス生誕300年記念パースデーコンサート」  
2004年6月11日、津田ホール  
出演:曾根麻矢子(hpsi)、小林久美、安井優子(vn)、川本嘉子(va)、江口心一(vc)  
第2回「セイヤス:鍵盤楽器のためのソナタ集、出版記念コンサート」  
2004年12月4日、トッパンホール  
出演:小柳美奈子、三好優美子、谷 真人、岸本雅美、松谷園子、宮谷理香(pf)、鈴木理恵子(vn)

### (4) アントン・アレンスキー没後100年記念コンサート

(その命日に)  
2006年2月25日、トッパンホール  
出演:新井博江、川畑陽子、三輪郁、前田拓郎、松谷園子、宮谷理香、高橋多佳子(pf)、横山奈加子(vn)、江口心一(vc)

### (5) アガーテ・バッケル=グレンダール 没後100年記念コンサート

(その命日に)  
2007年6月4日、東京文化会館小ホール  
出演:新井博江、三輪郁(pf)、本島阿佐子(sop)



### (6) 女性作曲家音楽祭2007(全12公演) 没後100年記念コンサート

2007年8月6日-10日、杉並公会堂小ホール  
6、7、10日:室内楽・器楽コンサート(1)-(6)  
8、9日:ピアノ曲マラソン・コンサート(1)-(6)  
(36作曲家、29アーティスト、総演奏時間約22時間)



知られざる作品を広める会 [代 表] 谷戸基岩 [連絡先] 〒168-0072 杉並区高井戸東4-12-4-106 TEL 03-3331-4010 / FAX 03-3331-4478

## 津田ホールで聴く女性作曲家—第3回

「ショパンと私は、貴女がどこでも輝かしい成功を収めるだろうと話しています」  
ジョルジュ・サンドの手紙(1842)

「女王のなかの女王! 貴女はなんと多くのよきことをなされたことか!」  
ツルゲーネフ最後の言葉(1883)

# PAULINE GARCIA-VIARDOT

PAULINE GARCIA-VIARDOT: 100TH ANNIVERSARY CONCERT OF HER DEATH

ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルド(1821-1910) 没後100年記念コンサート

# 「歌うヴァイオリン— ヴィアルド一族の室内楽」

18th May 2010, 18:00 Tsuda Hall

日時: 2010年5月18日(火)

午後6時開演(午後5時30分開場)

(午後4時よりホール1階会議室にて講演「ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルドとその周辺」)

場所: 津田ホール(JR千駄ヶ谷駅前)

全自由席 ¥3,000

曲目: ポリーヌ・ガルシア=ヴィアルド: 6つの小品、ソナチネ、2つの小品  
ルイーズ・ヴィアルド=エリット: ピアノ四重奏曲(夏に、スペイン風)  
ポール・ヴィアルド: 3つの小品、シシリエンヌ

出演: 大谷康子、小林美恵(ヴァイオリン)、百武由紀(ヴィオラ)、  
荻田雅治(チェロ)、山田武彦(ピアノ)

企画・構成: 小林 緑(国立音楽大学名誉教授)

〔チケット取り扱い〕(3月5日発売開始)

津田ホール TEL: 03-3402-1851  
東京文化会館チケットサービス TEL: 03-5685-0650  
電子チケットびあ TEL: 0570-02-9999 (Pコード: 100-358)  
知られざる作品を広める会 TEL: 03-3331-4010

〔主催・お問い合わせ〕 知られざる作品を広める会 谷戸(やと)  
TEL: 03-3331-4010 FAX: 03-3331-4478

〔協賛〕 津田ホール